

デジタルイノベーショングループ

デジタルイノベーショングループでは、インターネットや携帯電話網などを活用した「遠隔監視・制御」を実現するIoT技術に着目し、カメラや各種センサーを搭載した設備監視デバイスの研究開発に取り組んでいます。例えば、携帯通信や低消費電力の無線通信を活用した着雪気象センサー装置を開発し、山間部を含む広範囲の送電設備の効率的な監視を実現しています。

また、画像解析AIを活用し、送電鉄塔上で作業する作業員が危険な充電エリアに侵入した際に自動で検知し、監視者へ通知する安全管理システムの構築にも取り組んでいます。

さらに、自動認識技術であるRFIDを活用した物品管理システムの開発により、在庫管理の省力化と精度向上を図る他、厳冬期を含むEV充電インフラに関する実証を通じて、カーボンニュートラル社会に向けた新たな技術・サービスの検討も進めています。

このように当グループでは、デジタル技術を活用した業務の効率化・高度化と、新たな事業機会の創出に取り組み、お客さまや地域社会の課題解決への貢献を目指しています。

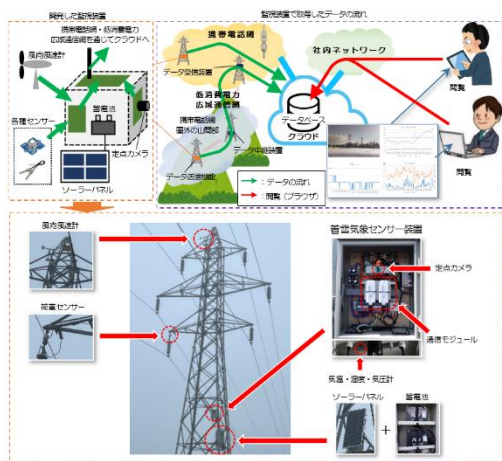
グループの役割

デジタル技術を使った

- ・業務高度化の推進
- ・お客さまへの新たな価値の提供や、新規ビジネスモデルの創出
- ・経営課題、地域社会課題への対応

研究テーマ

- ・着雪気象センサー装置の開発
- ・画像解析AIによる安全管理システムの開発
- ・RFIDの活用、EV充電インフラに関する研究 など



1. IoT技術を活用した着雪気象センサ



RFID技術を活用した物品管理システム



画像解析AIによる安全管理システム



FV充電インフラに関する実証